

## パリDAC通信(援助効果のチャンピオン～DACはアイルランドの援助審査の結果を勧告)

DACはアイルランドの援助審査を実施し、援助効果のチャンピオンとして評価する一方、金融・経済危機の中においてODA額の増額公約を維持することなどを勧告しました。

### ■経済成長に伴いODA額は急増

2008年のアイルランドのODA額は約13億ドル、ODA/GNI比は0.58%でした。アイルランドのODA額は、2003年以降、急速な経済成長に伴い実質ベースで90%増加しました。さらに経済成長の期間にもかかわらずODA/GNI比も0.39%から0.58%に増加し、DACメンバー中第6位という「寛容な」ドナーとして評価されています。

### ■ODA額の増額公約の維持を強く勧告

アイルランドは、現下の金融・経済危機により9500万ドルのODA予算の削減を決定しました。この措置についてアイルランドは暫定的なものと説明していますが、DACは2012年のODA/GNI比0.7%達成目標への取組の継続を強く勧告しました。一方で、他のDACメンバーからは、深刻化する経済危機においては、ODA増額の維持にも限界があるメンバーが今後多く出てくることが予想され、援助審査においてはODA/GNI比をより重視する要望が出されました。

### ■援助効果のチャンピオンとして途上国から高い評価

アイルランドODAの12%を占めるウガンダへの現地訪問からは、援助モダリティの8割が財政支援(残り2割はほとんどがNGOへの拠出)であることもあり、アイルランドは予測可能で柔軟性の高いドナーであり、途上国の優先順位を尊重している点を援助効果向上のチャンピオンとして高く評価されました。またアイルランドのNGO及びマルチ機関へのアプローチも戦略的かつ目標が明確であるとして評価されています。

### ■ODA実施体制には課題も

アイルランドODAの実施機関であるIrish Aidの本部は、首都ダブリンから200km離れたレメリックに移動したため、ダブリンや在外とのコミュニケーション確保の重要性が強調されました。また、アイルランドは成果の測定に注力しているとのことで、DACは、ODAへの国民支持をより獲得するためにこの結果を国民に広報することを勧告しました。

アイルランド援助審査の報告書はこちら

([http://www.oecd.org/document/25/0,3343,en\\_2649\\_34487\\_42581657\\_1\\_1\\_1\\_1,00.html](http://www.oecd.org/document/25/0,3343,en_2649_34487_42581657_1_1_1_1,00.html))  
をご覧ください。